



## 2020年3月期 第2四半期決算短信(米国基準)(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス  
 コード番号 3591 URL <https://www.wacoalholdings.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安原 弘展  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 宮城 晃  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東

TEL 075-682-1010

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	101,450	0.4	9,495	5.6	9,326	42.8	6,668	41.5
2019年3月期第2四半期	101,815	0.2	8,994	5.4	16,311	48.2	11,391	53.2

(注)四半期包括利益 2020年3月期第2四半期 3,979百万円 ( 66.2%) 2019年3月期第2四半期 11,759百万円 ( 7.1%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	103.07	102.67
2019年3月期第2四半期	170.35	169.73

#### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	296,674	219,128	214,454	72.3	3,350.39
2019年3月期	281,767	221,144	216,494	76.8	3,321.57

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		36.00		36.00	72.00
2020年3月期		40.00			
2020年3月期(予想)				40.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)2020年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 36円00銭 記念配当 4円00銭  
 2020年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 36円00銭 記念配当 4円00銭

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	3.0	11,000	125.5	12,000	444.7	9,000		139.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無

(注) 詳細については、添付資料の11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	68,589,042 株	2019年3月期	70,689,042 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	4,580,395 株	2019年3月期	5,510,891 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	64,694,162 株	2019年3月期2Q	66,866,299 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 6
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 7
(2) 四半期連結損益計算書	P. 9
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 9
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 11
(継続企業の前提に関する注記)	P. 11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 11
(会計方針の変更)	P. 11
(セグメント情報等)	P. 12
(6) 販売の状況	P. 13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する説明

## ① 当第2四半期の業績

(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期 連結累計期間	2020年3月期 第2四半期 連結累計期間	前期比	
			増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>101,815</b>	<b>101,450</b>	<b>△365</b>	<b>△0.4%</b>
売上原価	46,330	44,992	△1,338	△2.9%
<b>売上利益</b>	<b>55,485</b>	<b>56,458</b>	<b>+973</b>	<b>+1.8%</b>
販売費及び一般管理費	46,491	46,963	+472	+1.0%
<b>営業利益</b>	<b>8,994</b>	<b>9,495</b>	<b>+501</b>	<b>+5.6%</b>
その他の収益・費用	1,657	789	△868	△52.4%
A: 有価証券・投資評価損益 (純額)	5,660	△958	△6,618	—
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>16,311</b>	<b>9,326</b>	<b>△6,985</b>	<b>△42.8%</b>
<b>当社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>11,391</b>	<b>6,668</b>	<b>△4,723</b>	<b>△41.5%</b>
参考情報: Aを考慮しない税引前四半期純利益	10,651	10,284	△367	△3.4%

当社グループは、当期を初年度とする新しい中期経営計画をスタートさせました。

成長軌道への回帰を目指す(株)ワコールでは、3DボディスキャナーやAI（人工知能）を導入した次世代のインナーウェアショップをオープンするなど、イノベーションによる顧客との関係の再構築に取り組むとともに、収益性の更なる向上に努めています。海外事業では、各国においてECでの成長機会の創出と競争力の強化に向けた取り組みを進めており、その一環として、「LIVELY（ライブリー）」のブランド名称で女性用インナーウェア等の商品企画と小売販売を行っている、米国の Intimates Online, Inc.（以下「I0社」）の発行済株式のすべてを2019年7月末に取得し、完全子会社化しました。他方、国内子会社については、事業の選択と集中を進めることで、安定して利益を創出できる事業体制への移行を進めています。

なお、買収により子会社となった「I0社」は当第2四半期より連結対象としており、業績については、「ワコール事業（海外）」セグメントのワコールインターナショナル（米国）に含めて開示しています。

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～9月30日）の売上高は、前年同期並みとなりました。国内事業は、消費税増税前の駆け込み需要も寄与し、増収となりました。海外事業は、「I0社」の新規連結の効果があつたものの、米国の既存事業やタイの材料会社が苦戦したことに加え、為替換算による押し下げの影響もあり、減収となりました。ピーチ・ジョン事業は前年同期並み、その他は減収となりました。

営業利益は、前年同期に比べ6%の増加となりました。国内事業は、増収効果によって増益となりました。海外事業は、米国の既存事業の減収に加えて、「I0社」の営業損失を取り込んだことと、買収に係る一時費用を計上したことが影響し、減益となりました。ピーチ・ジョン事業は中国事業の苦戦が響いて減益となりましたが、その他は、ルシアン<sup>1</sup>の営業損失幅が縮小したことが寄与し、増益となりました。

税引前四半期純利益は、前年同期に比べ43%減少しました。有価証券・投資評価損益について、前年同期は評価益として56.6億円を計上していましたが、当期は評価損として9.6億円を計上したことが影響しています（上表「A」：前年同期比増減額△66.2億円）。（当社は米国会計基準を採用しており、当社および連結子会社が保有する持分証券を公正価値で評価し、期初からの変動を「その他の収益・費用」で計上しています）

なお、当該期間の為替換算レートは、1米ドル＝108.63円（前年同期110.26円）、1英ポンド＝136.73円（同146.91円）、1中国元＝16.20円（同17.09円）です。

## ②オペレーティング・セグメントの営業概況

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期		前期比	
	第2四半期累計	構成比	第2四半期累計	構成比	増減額	増減率
売上高合計	101,815	100.0%	101,450	100.0%	△365	△0.4%
ワコール事業(国内)	58,585	57.5%	60,360	59.5%	+1,775	+3.0%
ワコール事業(海外)	28,821	28.3%	27,253	26.9%	△1,568	△5.4%
ピーチ・ジョン事業	5,470	5.4%	5,466	5.4%	△4	△0.1%
その他	8,939	8.8%	8,371	8.2%	△568	△6.4%

(単位：百万円)

	2019年3月期		2020年3月期		前期比	
	第2四半期累計	売上比	第2四半期累計	売上比	増減額	増減率
営業利益	8,994	8.8%	9,495	9.4%	+501	+5.6%
ワコール事業(国内)	4,964	8.5%	6,288	10.4%	+1,324	+26.7%
ワコール事業(海外)	3,841	13.3%	3,023	11.1%	△818	△21.3%
ピーチ・ジョン事業	182	3.3%	96	1.8%	△86	△47.3%
その他	7	0.1%	88	1.1%	+81	—

(参考) 主要子会社の売上高・営業利益

(単位：百万円)

売上高	2019年3月期		2020年3月期		前期比	
	第2四半期累計	構成比	第2四半期累計	構成比	増減額	増減率
ワコール	52,580	51.6%	55,366	54.6%	+2,786	+5.3%
Ai	3,098	3.0%	2,598	2.6%	△500	△16.1%
ワコールインターナショナル(米国)	10,565	10.4%	10,228	10.1%	△337	△3.2%
ワコールヨーロッパ	7,398	7.3%	6,993	6.9%	△405	△5.5%
中国ワコール	6,250	6.1%	6,084	6.0%	△166	△2.7%
ピーチ・ジョン	5,470	5.4%	5,466	5.4%	△4	△0.1%
ルシアン	3,223	3.2%	2,985	2.9%	△238	△7.4%
七彩	4,967	4.9%	4,594	4.5%	△373	△7.5%

※外部売上高のみを記載しています。

(単位：百万円)

営業利益(△損失)	2019年3月期		2020年3月期		前期比	
	第2四半期累計	売上比	第2四半期累計	売上比	増減額	増減率
ワコール	3,989	7.6%	4,991	9.0%	+1,002	+25.1%
Ai	△58	—	19	0.7%	+77	—
ワコールインターナショナル(米国)	1,896	17.9%	1,147	11.2%	△749	△39.5%
ワコールヨーロッパ	789	10.7%	668	9.6%	△121	△15.3%
中国ワコール	874	14.0%	752	12.4%	△122	△14.0%
ピーチ・ジョン	182	3.3%	96	1.8%	△86	△47.3%
ルシアン	△199	—	△128	—	+71	—
七彩	204	4.1%	187	4.1%	△17	△8.3%

a. ワコール事業（国内）

当該セグメントの売上高は、消費税増税前の駆け込み需要が寄与し、前年同期に比べ3%の増加、営業利益は27%の増加となりました。

【ワコール】

ワコールの売上高は、前年同期に比べ5%の増加となりました。四半期単位では、第1四半期連結会計期間の売上高が、前年同期比1%の増加にとどまったのに対し、当第2四半期連結会計期間では、7月に天候不順の影響を受け苦戦したものの、増税前の駆け込み需要も寄与したことで、9%の増加となりました。卸売事業は、ワコールブランドで展開する睡眠時専用ブラジャー「ナイトアップブラ」やウイングブランドで量販店に向けて展開する「シンクロブラ」などが好調に推移したほか、定番商品への需要が拡大し、増収となりました。小売事業は、造形性を高めたブラジャー「グラマリッチ」が好調を維持したことに加え、来店者数の増加も寄与し、同じく増収となりました。WEB事業も、自社ECでの売上が好調に推移したことで、増収を達成しています。営業利益は、前年同期に比べ25%の増加となりました。オムニチャネルの構築に係るIT関連費用は増加しましたが、主力事業部の増収効果や売上利益率の改善に加え、一部広告宣伝費の投入を第3四半期以降に延期したことで、大幅な増益となりました。

b. ワコール事業（海外）

邦貨換算後の当該セグメントの売上高は、米国の既存事業やタイの材料会社が苦戦したことに加え、為替換算による影響もあり、前年同期に比べ5%の減少となりました。営業利益は、下記の主要3子会社の減益が響き、前年同期に比べ21%の減少となりました。

【ワコールインターナショナル（米国）】

ワコールインターナショナル（米国）の現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ2%減少しましたが、為替変動の影響もあり、邦貨換算ベースでは3%の減少となりました。新しく連結対象となった「I10社」の8月以降の売上高3.5億円を取り込んだ効果があったものの、百貨店（実店舗）の在庫調整が影響したことにより既存事業が苦戦した結果、減収となりました。営業利益は、既存事業の減収影響に加え、「I10社」の営業損失（△2.0億円）や、買収に係る一時的な費用を計上したことから、前年同期に比べ40%の大幅な減少となりました。

【ワコールヨーロッパ】

ワコールヨーロッパの現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ2%の増加となりましたが、為替変動の影響により、邦貨換算ベースでは6%の減少となりました。多様なサイズニーズに応える「Fantasie（ファンタジー）」「elomi（エロミ）」「Freya（フレヤ）」の各ブランドの展開強化に取り組んだ結果、百貨店、専門店、他社ECともに、第2四半期連結会計期間の売上が伸長しました。営業利益は、スペインの販売体制強化に伴う人件費の増加に加え、自社ECサイトでの売上拡大に向けた宣伝活動を進めていることから、前年同期に比べ15%の減少となりました。

【中国ワコール】

中国ワコールの現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ3%の増加となりましたが、為替変動の影響により、邦貨換算ベースでは3%の減少となりました。ECモール事業者とのアライアンス強化や実需期の販売プロモーションの展開によって、EC売上は高い成長を維持したものの、一部の百貨店の閉店等が響きました。営業利益は、EC売上の比率が高まったことで、売上利益率の改善が進んだものの、広告宣伝費の増加や倉庫移転に伴う一時的な費用を計上したことにより、14%の減少となりました。

c. ピーチ・ジョン事業

当該セグメントの売上高は、前年同期並みとなりました。国内では、事業効率の改善に向けて、不採算店の一部撤退を実行しつつ、セール販売の縮小に努めました。これらの結果、通販事業は減収に終わりましたが、店舗事業は、来客数増加が寄与したこともあり増収となりました。

営業利益は、国内はセール販売の構成比率を抑えたことで売上利益率を改善したほか、販管費の削減にも努めましたが、中国事業の営業損失の影響もあり、前年同期に比べ47%の減少となりました。

d. その他

当該セグメントの売上高は、前年同期に比べ6%の減少、営業利益は前年同期に比べ、増加しました。

【ルシアン】

ルシアンの売上高は、前年同期に比べ7%の減少となりました。収益重視の観点から見直しを進めている服飾生地やレース等の素材事業は減収となった反面、量販店向けPB製品の販売に回復が見られたことから製品事業は増収を確保しました。営業損益は、販管費の削減などが寄与し、前年同期から営業損失幅を縮小しました。

【七彩】

七彩の売上高は、前年同期に百貨店の大型改装工事があったことの裏返しから、前年同期に比べ8%の減収となりました。営業利益は、減収の影響により、前年同期に比べ8%の減少となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 資産、負債、株主資本等の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、会計基準の変更によりオペレーティングリース使用権資産を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比して149億7百万円増加し、2,966億74百万円となりました。

負債の部も同様に、会計基準の変更によりオペレーティングリース負債を計上したことに加え、条件付取得対価に係る負債やその他の流動負債が増加したことにより、前連結会計年度末に比して169億23百万円増加し、775億46百万円となりました。

株主資本は、利益剰余金の減少や為替換算調整勘定の減少により、前連結会計年度末に比して20億40百万円減少し、2,144億54百万円となりました。

以上の結果により、当第2四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して4.5%減少し、72.3%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して45億94百万円減少し、255億39百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益67億49百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、77億38百万円の収入(前年同期に比し2億36百万円の収入減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の減少や持分証券の売却及び償還収入などがあったものの、新規子会社の取得(取得した現金との純額)や有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、60億3百万円の支出(前年同期に比し33億円の支出増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得や配当金の支払などにより、57億77百万円の支出（前年同期に対し2億1百万円の支出減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2019年5月15日に公表した連結業績予想から変更ありません。また、持分証券の評価損益による変動影響は、連結業績予想には織り込んでおりません。



## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間	増減金額
	(2019年3月31日)	(2019年9月30日)	
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	30,133	25,539	△ 4,594
定期預金	4,004	686	△ 3,318
有価証券	446	542	96
売掛債権	24,989	27,390	2,401
貸倒引当金	△ 229	△ 234	△ 5
たな卸資産	42,508	42,259	△ 249
返品資産	1,180	1,501	321
その他の流動資産	4,985	4,746	△ 239
流動資産合計	108,016	102,429	△ 5,587
II. 有形固定資産			
土地	21,549	21,447	△ 102
建物及び構築物	74,033	74,052	19
機械装置及び工具器具備品等	18,914	18,590	△ 324
建設仮勘定	478	999	521
	114,974	115,088	114
減価償却累計額	△ 61,704	△ 62,200	△ 496
有形固定資産合計	53,270	52,888	△ 382
III. その他の資産			
オペレーティングリース 使用権資産	—	13,425	13,425
関連会社投資	21,859	21,203	△ 656
投資	63,372	58,943	△ 4,429
のれん	11,954	24,379	12,425
その他の無形固定資産	12,297	12,443	146
前払年金費用	3,990	4,097	107
繰延税金資産	1,362	1,325	△ 37
その他	5,647	5,542	△ 105
その他の資産合計	120,481	141,357	20,876
資産合計	281,767	296,674	14,907

科 目	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間	増減金額
	(2019年3月31日)	(2019年9月30日)	
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	8,116	7,752	△ 364
買掛債務			
支払手形	1,155	1,254	99
買掛金	10,638	10,333	△ 305
未払金	6,548	4,356	△ 2,192
	<u>18,341</u>	<u>15,943</u>	<u>△ 2,398</u>
未払給料及び賞与	7,209	6,881	△ 328
未払税金	2,759	4,001	1,242
返金負債	3,482	4,079	597
短期オペレーティング リース負債	—	4,447	4,447
条件付取得対価に係る負債 (短期)	—	1,079	1,079
その他の流動負債	3,955	4,971	1,016
流動負債合計	43,862	49,153	5,291
II. 固定負債			
退職給付に係る負債	1,828	1,869	41
繰延税金負債	12,567	11,760	△ 807
長期オペレーティング リース負債	—	9,114	9,114
条件付取得対価に係る負債 (長期)	—	3,292	3,292
その他の固定負債	2,366	2,358	△ 8
固定負債合計	16,761	28,393	11,632
負債合計	60,623	77,546	16,923
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,807	29,828	21
III. 利益剰余金	193,139	191,006	△ 2,133
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	1,551	△ 1,641	△ 3,192
年金債務調整勘定	△ 5,679	△ 5,268	411
V. 自己株式	△ 15,584	△ 12,731	2,853
株主資本合計	216,494	214,454	△ 2,040
VI. 非支配持分	4,650	4,674	24
資本合計	221,144	219,128	△ 2,016
負債及び資本合計	281,767	296,674	14,907

## (2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)		増減金額 百万円
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	101,815	100.0	101,450	100.0	△ 365
II. 営業費用					
売上原価	46,330	45.5	44,992	44.3	△ 1,338
販売費及び一般管理費	46,491	45.7	46,963	46.3	472
営業費用合計	92,821	91.2	91,955	90.6	△ 866
営業利益	8,994	8.8	9,495	9.4	501
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	125		136		11
支払利息	△ 10		△ 13		△ 3
受取配当金	811		865		54
有価証券・投資売却 及び交換損益(純額)	140		—		△ 140
有価証券・投資評価損益(純額)	5,660		△ 958		△ 6,618
その他の損益(純額)	591		△ 199		△ 790
その他の収益・費用合計	7,317	7.2	△ 169	△ 0.2	△ 7,486
税引前四半期純利益	16,311	16.0	9,326	9.2	△ 6,985
法人税等	5,185	5.1	2,922	2.9	△ 2,263
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	11,126	10.9	6,404	6.3	△ 4,722
持分法による投資損益	346	0.4	345	0.4	△ 1
四半期純利益	11,472	11.3	6,749	6.7	△ 4,723
非支配持分帰属損益	△ 81	△ 0.1	△ 81	△ 0.1	0
当社株主に帰属する四半期純利益	11,391	11.2	6,668	6.6	△ 4,723

## (3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)		増減金額 百万円
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	11,472		6,749		△ 4,723
II. その他の包括損益 —税効果調整後					
為替換算調整勘定	389		△ 3,181		△ 3,570
未実現有価証券評価損益	△ 104		—		104
年金債務調整勘定	2		411		409
その他の包括損益 合計	287		△ 2,770		△ 3,057
四半期包括損益	11,759		3,979		△ 7,780
非支配持分帰属四半期包括損益	0		△ 92		△ 92
当社株主に帰属する四半期包括損益	11,759		3,887		△ 7,872

## (4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 2018年 4月 1日 至 2018年 9月30日)	(自 2019年 4月 1日 至 2019年 9月30日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	11,472	6,749
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	2,752	2,829
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金(純額)	△ 2,278	46
(3)繰延税金	1,642	△ 1,346
(4)固定資産除売却損益(純額)	△ 1	17
(5)有価証券・投資売却及び交換損益(純額)	△ 140	-
(6)有価証券・投資評価損益(純額)	△ 5,660	958
(7)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	136	174
(8)資産及び負債の増減		
売掛債権の増加	△ 1,064	△ 2,699
たな卸資産の減少(△増加)	373	△ 95
返品資産の増加	△ 1,363	△ 321
その他の流動資産等の減少(△増加)	△ 891	266
買掛債務の減少	△ 2,445	△ 2,252
返金負債の増加	3,758	597
退職給付に係る負債の増加(△減少)	△ 263	533
その他の負債等の増加	1,988	2,023
(9)その他	△ 42	259
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,974	7,738
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 4,094	△ 297
2. 定期預金の減少額	2,986	3,533
3. 持分証券の売却及び償還収入	882	3,259
4. 持分証券の取得	△ 12	△ 260
5. 負債証券の償還収入	341	326
6. 負債証券の取得	△ 333	-
7. 有形固定資産の売却収入	33	39
8. 有形固定資産の取得	△ 1,036	△ 1,622
9. 無形固定資産の取得	△ 1,480	△ 1,748
10. 新規子会社の取得(取得した現金との純額)	-	△ 9,243
11. その他	10	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,703	△ 6,003
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	163	△ 233
2. 長期債務の返済	△ 25	△ 28
3. 自己株式の取得	△ 3,500	△ 3,102
4. 当社株主への配当金支払額	△ 2,425	△ 2,346
5. 非支配持分への配当金支払額	△ 191	△ 184
6. 非支配持分からの払込みによる収入	-	116
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,978	△ 5,777
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	656	△ 552
V. 現金及び現金同等物の増減額	△ 51	△ 4,594
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	29,487	30,133
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	29,436	25,539
補足情報		
現金支払額		
利息	10	14
法人税等	2,615	2,398
現金支出を伴わない投資活動		
新規子会社の取得価額(条件付取得対価)	-	4,400
固定資産の取得価額	397	802

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

リース

当連結会計年度より、リースに関する規定 (ASU2016-02、2018-01、2018-11) を適用しております。この規定は、従来の米国会計基準においてオペレーティングリースに分類されるリース取引について、一部の例外を除いて、貸借対照表上に使用権資産、リース負債を認識することを要求するものです。当社グループは、比較年度の連結財務諸表を修正・再表示せず、適用年度の期首より当規定を適用し、累積的影響額を期首利益剰余金に調整する修正遡及アプローチを採用しております。規定の適用日以前に存在した又は終了した契約について、リース契約に該当するか否か、リース分類、及び当初直接コストを再評価しない簡便法を採用しております。また、規定の適用日以前に取得した又は期限の切れた地役権のうち、リースとして会計処理していないものについて再評価しない簡便法も採用しております。この規定の適用により、2019年4月1日現在の連結貸借対照表に、オペレーティングリースに係る使用権資産及びリース負債をそれぞれ14,550百万円計上しております。さらに、税効果会計の適用により515百万円の繰延税金負債を計上し、同額を累積的影響額として期首利益剰余金より減額しております。なお、この規定の適用が当社グループのキャッシュ・フローに与える影響は軽微であります。

## (セグメント情報等)

## ① オペレーティング・セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	58,585	28,821	5,470	8,939	101,815	—	101,815
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	473	5,377	665	2,595	9,110	△ 9,110	—
計	59,058	34,198	6,135	11,534	110,925	△ 9,110	101,815
営業利益	4,964	3,841	182	7	8,994	—	8,994

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	60,360	27,253	5,466	8,371	101,450	—	101,450
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	461	5,787	385	2,624	9,257	△ 9,257	—
計	60,821	33,040	5,851	10,995	110,707	△ 9,257	101,450
営業利益	6,288	3,023	96	88	9,495	—	9,495

(注) 1. 各事業の主な製品

- ワコール事業(国内) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レッグニット他
- ワコール事業(海外) … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、その他繊維関連商品他
- ピーチ・ジョン事業 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア)、アウターウェア、その他繊維関連商品他
- その他 … インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品、マキソン人形、店舗設計・施工他

## 2. オペレーティング・セグメント別資産関連情報

当第2四半期連結会計期間において、「IO社」を連結子会社化したことなどにより、ワコール事業(海外)セグメントの資産が前連結会計年度末に比して8,322百万円増加しております。その結果、ワコール事業(海外)セグメントの資産は当第2四半期連結会計期間末において87,234百万円となっております。

## ② 地域別情報

前第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	72,619	11,779	17,417	101,815
構成比	71.3%	11.6%	17.1%	100.0%
営業利益	5,185	1,164	2,645	8,994

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	73,665	11,058	16,727	101,450
構成比	72.6%	10.9%	16.5%	100.0%
営業利益	6,555	1,207	1,733	9,495

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: 東アジア、東南アジア及び西アジア諸国、オーストラリア

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

## (6) 販売の状況

製品の種類		前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増減	
		自2018年4月1日 至2018年9月30日		自2019年4月1日 至2019年9月30日			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
インナーウェア	ファンデーション ・ランジェリー	77,052	75.7	78,545	77.4	1,493	1.9
	ナイトウェア	4,216	4.1	3,941	3.9	△275	△6.5
	リトルインナー	676	0.7	594	0.6	△82	△12.1
	計	81,944	80.5	83,080	81.9	1,136	1.4
アウターウェア ・スポーツウェア等		8,181	8.0	7,415	7.3	△766	△9.4
レッグニット		895	0.9	879	0.9	△16	△1.8
その他繊維製品 及び関連製品		4,705	4.6	4,241	4.2	△464	△9.9
その他		6,090	6.0	5,835	5.7	△255	△4.2
合計		101,815	100.0	101,450	100.0	△365	△0.4